



町内会だより

大成

第128号
令和6年1月1日
発行責任者 川越 清一
編集責任者 松本 光弘
印刷 榎根上印刷所

大成町勢
男950人 女974人
計1,924人
世帯数 821世帯
(令5.12.1現在)



わが大成町

大成町町内会長 川越 清一

新年明けましておめでとーございませう。

令和6年の新春を、輝く年と希望を持って迎えられた事と存じ、お慶び申し上げます。昨年の経験したことのない夏の酷暑、一昨年8月4日の線状降水帯による大排水の越水を受け、豪雨の経験・教訓を受け水害ハザードマップを更新しております。コロナ感染拡大も落ち着きが見え、この一年皆様のご協力により様々な事業や行事がひとつづつ戻り、遂行出来た事を感謝し、運営に対しご理解とご支援を賜り心より厚くお礼申し上げます。

さて、この度4年の間町内会長を務めさせて頂きました。が、節目ということで退任させて頂きたいと思っております。町内会長はなかなか奥深い役職で、本多他家志前会長からの活動方針を継承し、町民からの要望ご意見に対し、役員と協力し活動して参りました。

昭和31年大成町として合併し67年、大きくなる町大成町として先人の方々の城上げら

れたご努力により、東部地区の開発、土地区画整備事業により多くの人を迎え、現在世帯数821戸、1,924名の方々が生活されています。内、高齢者数473名、高齢化率が24.9%です。大成町は人口は増えてはおりますが、今まで経験のない超高齢化社会、人口減少に直面している日本、それぞれの立場で自発的に地域で支えあう組織づくりが大切だと思います。平成28年新築の新公民館「さくら会館」は利用、活動行事が多く、会合・行事はもとより「習字教室」「学習教室」「サークル活動」「コーラス・オカリナ練習」等々その他文化団体の長寿会、壮成会、壮年会、女性会、PTA、自衛消防団等の活動が公民館を中心に行われ、融和と発展に寄与しています。また、福祉ボランティアや委員で組織する「地域福祉委員会」や「民生児童委員」との協力で、認知症予防の「のみ活倶楽部」、高齢者憩いの場の「いきいき

サロン」、家籠もり予防や親子での「さくらカフェ」等の活動で人と人の親睦と融和を図り、安心・安全なまちづくりを目指すものです。町内会としての方向を示し、人づくりが大切ではないでしょうか。本年3月16日には「北陸新幹線全線開通」敦賀延長にて、能美市の玄関口「能美根上駅」を市との連携を密にし、人の交流・活性化を進めて行かなければなりません。7月に開催されるオリンピックパリア大会、現在最終選考までは時間がありますが、最有力候補である「平田しおり」さんが前回東京大会の成績を上回る最大限のパフォーマンスを発揮され、大きな花が咲きます様祈念します。町民皆様にも大成町・能美市・日本代表への応援方お願い致します。

令和に入りこの4年間、携わって頂いた役員・スタッフに恵まれ、良きスタッフのおかげにより今日まで務めることが出来、町民皆様の暖かいご理解とご支援を賜りましたことに深く感謝申し上げます。大成町にはまだまだ課題や懸案が山積しておりますが、意見を集約方向付け決断し、安全で安心して住みよい街であります様更なる発展をご祈念申し上げます、お礼の挨拶といたします。

新年のご挨拶



能美市議会議員
中村 純子

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、新春をすがすがしい気持ちで迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年中は格別のご支援を賜り、お陰様で充実した議員活動をおくることが出来ました。改めまして心より御礼申し上げます。

コロナウイルス感染症が落ち着きを見せ、徐々に以前のような暮らしに戻ってきているようです。町内でも「夏祭り」「秋祭り」「レクリエーション大会」「文化祭」等がコロナ禍以前のような形で実施されるようになり、大勢の方々が集い、賑いも戻ってまいりました。このような町内会行事は、地域の人々のつながりや支え合いを醸成するうえで大変有意義な事だと感じています。微力ですが、今年も町内会役員の皆さんと協力しながら取り組んでまいりたいと思っております。

さて、来る3月16日には、北陸新幹線も県内全線開業となります。それと同時に並行在来線を引き継ぐIRいしかわ鉄道が、運行区間を金沢以西に延伸し、既に運行している金沢以東と合わせて県内全区間の同日開業となり、能美市の玄関口である能美根上駅の存在もさらに注目されるようになります。

つてくると思います。ただ、駅へのアクセスの利便性や運賃の問題、また、駅舎や駅周辺の整備等、課題も多くあります。能美根上駅は、能美市にとっても大成町にとっても大きな財産であり、資源です。引き続き、皆さんの声をお聞きしながら、魅力ある能美根上駅となるように、取り組んでまいりたいと思っております。

さて、昨年の新年号で、放課後児童クラブの利用に関して、「大成町の子ども達が中央児童館を利用できるように戻してほしいとの皆さんからの声を受け、市当局に改善要望を行った結果、残念ながら期待する答えが返ってきませんでした。今後、粘り強く取り組んでいきたい。」と報告いたしました。この課題については、その後も、引き続き、委員会でも要望を続けながら、本会議でも取り上げました。一方、今年新一年生になるお子様をお持ちの保護者の方々の要望活動もあり、いよいよ市も改善に向けた取り組みを行うこととなりました。既に新聞報道でご存じのこととは思いますが、中央児童館の放課後児童クラブの定員を増やすため、浜小学校の空き教室を利用しようというものです。これにより、以前のように大成町の子ども達も中央児童館の放課後児童クラブを利用できることとなります。これからは皆さんと力を合わせ、地域の課題に取り組んでいければと思います。

今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をいただければ幸いです。結びに、大成町の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

一年を振り返って

大成町長寿連合会会長 前多 庄治

大成町長寿会としては、まだすべての行事が終わったわけではありませんが、今年を総括しますと、まず執行部役員をなかなか決めることが出来ず、右往左往した大変不本意なスタートとなりました。

しかし、独自行事として今回初めて7月に健康麻雀大会を開催することが出来ました。13名の参加者で優勝者は女性でした。また恒例の秋の保養会は日帰りのバス旅行で敬老会を兼ね会員以外の方も募集して最終25名の参加で福井の大安禅寺のいきいき法話を笑いこらげて拝聴し、また武生の菊人形展を鑑賞して、無事に楽しく帰宅することが出来たのではと思っております。

関連行事としては、町内会並びに老人会根上支部や市老連の行事が多数ありましたが、会員の方は勿論、執行部役員、地区委員の方には多大のご協力とご参加をいただき本当に有難うございました。とりわけ、南雅雄さんには毎回映画観賞会と健康マージャンサロンの、独自に開催お世話いただき本当に感謝に堪えません、有難うございます。今後とも許される限りよろしくお願い致します。

また町内の高齢者の為に、毎月いきいきサロンやさくらカフェを開催していただいている民生委員をはじめとするボランティアの方々にも厚

く御礼申し上げます。楽しいひと時を過ごさせていただき本当に有難うございます。今後ともよろしくお祈り致します。

最後に、この一年間の長寿会活動を支えて下さった会員及び地区委員、執行部の皆様のご協力に感謝すると同時に皆様のご多幸を心からお祈りいたします。

壮成会活動の一年を振り返って

大成町壮成会会長 中田 真

初めての会長ということで緊張しておりましたが、早いものでお引き受けして、もう一年が経とうとしています。おかげさまで、皆様のお力添えもあり、最後まで職務を全うすることができました。これもひとえに会員をはじめ役員の皆様の多大なるご支援、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、この一年の活動を振り返ってみますと、5月にコロナの感染症分類が5類に変更され、だいぶ落ち着いて、社会も活気を取り戻ってきているなか、



音楽の夕べ

当会でも予定していた行事、事業をすべて実施することができました。更に、年間テーマである「何か新しいことを始めない」とにも果敢に挑戦していただいた結果、新たに2つの行事を実施することができました。そして、各委員会が行事の企画運営に真剣に取り組み、委員の皆様が一丸となって「参加して楽しい壮成会」を目指して奮闘していただきました。一方、壮成会を取巻く状況は、年々厳しいものとなっております。入会会員の低迷はその最たるもので、60歳以上75歳までが参加資格なのですが、現状会員数96名の構成比をみると70歳以上で61%を占め、65歳までが17%となっております。このように会員の高齢化は深刻で、若年層（と言っても60歳代）の取り込みが緊急の課題となっております。それには壮成会の活動を通じて、次世代に活動の楽しさや仲間との連帯感等を伝えていくことが最も大切なことだと思えます。

会長という役目をいただき、今までとは違う責任感を感じた一年であり、また、人と助け合う大切さを痛感した一年でもありました。壮成会に関わっていただいたすべての方へ、ありがとうございます。そして、何かと力不足、経験不足などところもあり、至らない点も多々ありました。ことごとく、お詫び申し上げますとともに、活動を支えていただきました会員、役員の皆様には大変お世話になりました。したことを深く感謝申し上げます。誠にありがとうございます。



ボウリング大会

最後に、4月から新役員のもと、新たな活動が始まります。会員の皆様には、今後も変わらぬ協力とご参加をお願いし、活発なる壮成会であって欲しいと祈念申し上げます。

一年を振り返って

大成町壮年会長 中川 純吾

令和5年度の壮年会長を務めていきます、9組の中川です。

町民の皆さまにおかれましては、当会の活動に格別のご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和5年度の会活動も終盤を迎え、残すところ総会のみとなりました。この広報誌への寄稿にて一年を振り返ってみたいと思います。

新型コロナウイルスが猛威を振るって3年、遂に終息の兆しが見える状況となり、当会の活動も再開に向け進めて参りました。主要行事については次のとおりです。

ソフトボール大会：参加チームが漸減する中、大成町は数がモノをい

うのがウリ。2チームを編成、存在感を示すことが出来ました。

七夕まつり踊りの夕べ：公民館各種団体のひとつとして参加。にわか編成のチームでの出場となり、受賞には至らず。

大成町夏まつり：本年は天候に恵まれ賑やかな夏まつりとなりました。壮年会役員を中心に酒類の販売コーナーを担当、多くの町民の皆さまとふれあいがあったと思います。

秋祭り御神輿渡御：壮年会最大の行事のひとつで、ここ数年は規模を縮小した実施でしたが、コロナ禍以前の形に戻りました。参加人数が成功のカギとなりましたが、多くの若手会員に参加いただけたことで、最後まで力尽きることなく無事神社まで神輿を担ぐことが出来ました。

総じて、壮年会の会活動の成否は「どれだけ多くの会員が活動に参画するか」が全て。活動ひとつひとつをとっても終わってみれば「参加してよかった」「面白かった」と思うことが多々ありますが、参加するまでの「心のハードル」が幾ばくか高いような気がしています。壮年会内での役割や、居場所、人の繋がりがあればそのハードルも随分下がってくることから、会員拡充の課題解決はもとより、会員相互の繋がりの構築や役割分担についても検討しなければならぬフェーズに入ってきたなと思います。

最後に会員の皆さまにおいては、多くの協力・参加を頂き会長として心から感謝申し上げます。次年度以

降についても大成町壮年会が賑やかに親しみやすい会となることを祈念申し上げます、一年の振り返りしたいと思います。

一年を振り返り

大成町女性会会長 濱谷 千晴

今年度も残りわずかとなりました。一年を思い返してみると、6月のスポーツフェスティバルから始まり、花植え、夏祭り、レクリエーション大会と町内行事もコロナ前のように戻ってまいりました。根上校下婦人会主催のチャリティーバザーも4年ぶりに開催。会員の方々にたくさんの物品をご提供して頂き、大盛況に終わりました。この場をお借り致しまして御礼申し上げます。ありがとうございます。根上校下婦人会のイベントで町外の方々との情報交流にて多くの事を学び、自分にプラスになる事が多い一年でもありました。

ストレス 社会と言われているこの時世、リンパマッサージを企画。リンパマッサージから最後は自律神経を整える瞑想。体



リンパマッサージ

に触れる事の大切さ、「人は自分を愛する程度にしか他人を愛する事ができない」という事を学ばせて頂きました。参加して頂いた方にはリラックスした一時を過ごして頂いたのではないかと思います。

毎年恒例のお正月花、今年は生花とプリザーブドフラワーアレンジメントを選択できるように工夫してみました。時代の変化とともに。従来通りではなく新風を吹かせ年々減少している女性会を今後どうしたら良いか考えて行かなければならないと思います。

役員の方々には一年間支えて下さり感謝の気持ちでいっぱいです。また会員の皆様、今年度女性会活動への参加、ご協力を頂きましてありがとうございます。これからも女性会を何卒よろしくお願い致します。

一年を振り返って

大成町PTA会長 吉田 大輔

令和5年度の大成町PTA会長となり、分からない事だらけ、不安な気持ち一杯でスタートしました。今年度予定しているイベントも残りわずか。今思うことは、これまでの行事やイベントを無事終えることが出来たのは、今年度の大成町PTA役員をはじめ、これまでのPTA会長の方々、PTA会員の保護者の皆様、町内会の方々の助けや支えがあってこそだと、感謝の気持ちで一杯です。まず日頃のご指導やご協力に、お礼を申し上げ

げます。

今年度はコロナ禍も収束を向かえ、すべての行事が元通りに行えるようになりました。今年度は子供達に少しでも良い思い出を作ってもらえるよう、途絶えてしまった行事やイベントを無事開催できるようにする、という目標を掲げて活動をしてきました。



ラジオ体操

振り返ると、イベントを通じて、子供たちの力強さ、成長に勇気ももらう一年でした。春のスポーツフェスティバルでは、大縄跳びの練習ではなかなか上手く続かない状況でしたが、本番では素晴らしいパフォーマンスを發揮してくれたことが印象的です。

また、秋祭りの子供獅子では暑いな中しんどいにも関わらず、自主的に徐々に上級生が下級生を引っ張って行くようになり、幾つかのトラブルがありながらも予定通りに終えることが出来ました。

これだけではありませんが、子供の成長や可能性に勇気や感動を頂けた一年だったと思います。最後になりますが行き届かない

事も多々ありましたが、町民の皆様やPTA会員の皆様のご協力のもと、一年を無事終えることが出来ました。感謝を申し上げます。令和5年度の3月まで続きますが、今後ともPTA活動へのご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

一年を振り返って

大成町自衛消防団長 榎原 裕次

日頃より自衛消防団の活動に御理解と御協力をありがとうございます。自衛消防団としての活動を振り返ってみますと、3月に小松マテール内にて行われた特別自衛消防隊として、火災防衛訓練から始まりました。消防本部、根上地区の自衛消防、小松マテールの自衛消防が連携しての放水。消防本部によるヘリコプターが出勤しての救助活動。実践に近い訓練を経験する事が出来て、今後の活動にも活かす事ができるのではないかと思います。

6月には、自衛消防団技能演習大会が開催されました。一か月前から、団員が集まり大会に向けて、汗を流しました。結果は入賞する事ができて、団長として安堵しました。実力的には、まだまだ上を狙える団員が沢山いますので、来年の選手にご期待ください。

10月には、特別自衛消防隊による基本活動訓練が開催されて、防火衣の着装や小型ポンプ、ホースの取り扱い等基本動作を再確認しました。

町内においては、今年は大きな災害は発生してませんが、石川県内では

は奥能登地震、津幡町での短時間で大雨が発生して、大きな被害となりました。昨今の異常気象をみると災害のリスクは、確実に高まっており、いつ何時起こりえるかわかりません。今後も自衛消防団が、災害時に迅速に対応できるように訓練や町内会と連携した減災活動に励んでまいります。

最後になりますが、今後変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和5年度下半期 大成町内会の年間行事アルバム

夏越しの大祓い祭(茅の輪くぐり神事)
6月25日(日)



より良い環境づくりの日
7月2日(日)



根上七夕まつり踊りの夕べ
7月22日(土)



大成夏まつり
8月5日(土)



乙先祖の日追悼法要
8月7日(日)



町内幹線排水路清掃
8月20日(日)



大成町防災訓練
9月3日(日)



大成八幡さん 大成八幡神社奉賛会

奉納

『神具殿建設基金』

令和五年度の初老五名、還暦十一名の方々には、児童館跡地に計画している神具殿の建設に賛同をいただき、その基金として奉納をいただきました。

平成二十六年から始まった『神具殿建設基金』は、これまでの十年間で百六十名、総額一六八万円余となり、神社ではそのご芳名を拝殿の西壁に掲示しております。

なお、神具殿建設については令和六年度中の着工を目指し、現在調整中です。

報告

去る十月十一日、大成八幡神社奉賛会の永年に亘る活動に対し、石川県神社総代会より表彰状が授与されました。ここにこの紙面をお借りし報告いたします。

神社近況

秋季例大祭

九月十七日(日)、秋季例大祭が営まれ、神輿渡御のほか、子供獅子舞、太鼓曳きなど一連の関連行事が行われました。



七五三詣り

十一月八日(水)、大成保育園の年長組が神社を訪れ、これまでの成長に感謝し、これからの健やかな成長と守護を願い、お祓い祈願いたしました。



新任巫女

令和六年度の新巫女さん六名は保護者の方々と一緒に十月七日(土)安宅住吉神社を訪問参拝し、宮司さんより巫女の心構え等についてお話をいただきました。新巫女さん達は、現在、神楽舞の練習に励んでおり、令和六年元旦よりご奉仕をいたします。



大しめ縄作り

十一月十九日(日)、来年初老・還暦を迎える方々と奉賛会・総代により、八月に刈り取った新わらを使って大しめ縄一本と手水舎等に掛ける小しめ縄八本を作りしました。十二月十七日(日)に新しいしめ縄に取り替え、新年を迎えることとしました。



年末年始の諸行事

年越しの大祓い祭

十二月十七日(日) 午後四時より

新しい年を迎えるにあたり、一年間の罪穢れを祓い清めました。

斎火祭

十二月三十一日(日) 午後三時～五時

お祓いの後、古い神棚やお札・しめ飾り等を燃やします。

元旦祭

一月一日(月・祝) 午前〇時～二時までお祓い

(二時より六時まで休憩)

午前六時～正午までお祓い

(六時からは三十分ごとに) お祓いいたします。(ご家族お揃いで初詣され新しい年をお迎えください。)

新年総会

一月三日(水) 午後(町内会総会后)



文芸

短歌

宝達喜久枝

やうやくに冬着を脱がせる春の風
白山連峰黄砂にかすむ

雑踏のなかゆくひとり大声に
スマホを耳にかき分けて過ぐ

雨雲は風にせかされ流れくる
仰ぐ晴れ間に時雨の疾し

秋の光を背に負ぶひてすいすいと
思ひの外に動く老いの身

コロナ禍に内輪勤めの報恩講
み堂ゆるがす音聲なくさみし



新春の町内会行事

◆ 出初式

1月3日(水) 午前8時30分
大成町公民館

◆ 大成町内会総会

1月3日(水) 午後1時30分
大成町公民館

◆ 左義長

1月7日(日) 午前9時
大成八幡神社

◆ 令和六年度 大成町書初め大会

1月6日(土)

午前10時～12時

大成町公民館

講師 田中 克明先生

参加者 町内一般者・高校生

および 小・中学生

(書道用具一式 持参)

手本の内容 「寒花発」

読み 寒花発かんかひらく

意味 早春の花が
開くことを言う。



謹んでおくりやみ 申し上げます

お名前 享年

高塚 玉子	87歳
亀田 繁	88歳
上田 外栄	73歳
太田 豊	83歳
石地 幸弘	85歳
北村 金子	93歳
中田 綾代子	86歳
山上 幸子	70歳
南 美紀子	75歳
中田 光江	82歳
川端 洋行	69歳
浜田 耕造	82歳
掛村 文子	96歳

(令和5年6月1日～
令和5年12月10日)



編集後記

二年前の新年総会、役員の仕事内容を聞いて気持ちは一気に「不安」。

退任時は「安堵」で終わると思っていました、でも今の気持ちはやり残し感や、さみしさ？が有り「複雑」。

気持ちはどうあれ、任期終了。

二年間「町内会だより」の発行にご協力いただいた方、そしてなにより目を通していただいた皆様ありがとうございました。

